

# 編修趣意書

## 教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
30-143	小学校	生活	生活	第1・2学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	生活 111 112	せいかつ 上 まいにち あたらしい せいかつ 下 だいすき みつけた		

## 1. 編修の基本方針

### 「生活に根ざし、よき生活者を育てる。」

児童の生活圏を学習の対象や場として、身近な人々から、社会および自然までを自分との関わりで捉え、体験を重ねることで、幅広い知識と教養を身につけ、情操を豊かに育む。そのような学習を通じて、生活に根ざした、よき「生活者」を育てたい。以上の方針を実現できるよう、次のことを基底において編修しました。

#### 1 学びを「深める」教科書

—— 学びを確かなものにする、ホップ・ステップ・ジャンプの3段階で構成しています。

児童は、対象に興味を抱くとともに活動の見通しをもち、試行錯誤しながら主体的に体験活動と表現活動を繰り返し、最後に学びを振り返ります。学習過程を明確に示すため、各単元を「ホップ」・「ステップ」・「ジャンプ」の3段階で構成しました。学習の流れやねらいが明らかになり、学びが確実に定着します。

#### 2 学びを「つなげる」教科書

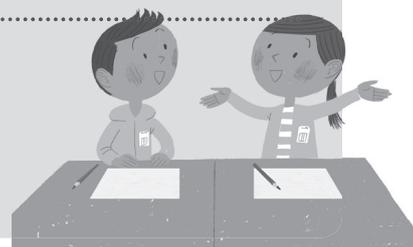
—— 幼児教育や中学年以降の教育との接続を、また、他教科に有機的につながる学習を実現しました。

上巻冒頭に、幼保小の円滑な接続を意図したスタートカリキュラムページを新設しました。下巻には、生活科の学びが中学年以降の学びに自然に接続する活動を設けました。カリキュラム・マネジメントの視点から、他教科等との合科・関連教材も豊富に示しています。また、国語との関連を考え、学年の始まりと、児童が次学年の活動にいざなう場所などに、自分の表現につなげられる、楽しく、効果的な言葉を提示しています。

#### 3 学びを「広げる」教科書

—— 児童の心を揺さぶり、活動を広げる豊富な資料を多数掲載しました。

児童の関心をさらに広げたり、習慣や技能をしっかりと定着させたりできるよう、多岐にわたる資料を収録しました。四季の変化を示した「きせつのおくりもの」、単元の発展的内容を示した「もっとやってみよう」のほか、巻末の「ひろがるせいかつじてん」に安全教育の資料、体験・表現方法の資料などを収録しています。



# 1

## 学びを「深める」教科書

—— 学びを確かなものにする，ホップ・ステップ・ジャンプの3段階で構成しています。



ホップ

### 児童の心を動かし、活動にいざなう「ホップ」(導入)



【学習の見通しの場】  
単元冒頭の学習過程を確認する場。児童自身に、最初に活動の見通しをもたせ、学びを確かなものにします。

#### 【導入の発問】

児童が自分との関わりから学習を捉えられるよう、日常生活やこれまでの体験を学びにつなげられる問いかけをしています。

#### 【学習を想起させるイメージ絵(写真)】

児童の関心・意欲を高められるよう、各単元の内容に合わせた楽しい描き下ろしのイラストや写真を掲載しました。

下巻 p6-7



ステップ

### 良質で多様な学習活動の例と、学習のプロセスを明確にした「ステップ」(展開)

その単元で特に児童自身に考えてほしい点を示した「どうすれば」コーナー。活動を深めるためのヒントとともに、自分たちで考えられるように「？」を置きました。「主体的・対話的で深い学び」を具現化します。



児童の思考の流れに沿って構成した体験活動の例。試行錯誤や問題解決の例を示すことで、児童の資質・能力を育てます。

学習内容に応じた表現活動の例。活動ごとに、適切な表現方法を例示しています。

下巻 p10-11



ジャンプ

### 生活科の活動を振り返り、学びを深めたり日常生活につなげたりする「ジャンプ」(振り返り)

振り返り時の児童の発言を想定しています。多様で、「深い学び」(気付きの質の高まり)が見てとれる内容を掲載しました。



自分の振り返りを付録のシール(シールは何度も貼ったり剥がしたりできます)に書いて貼ります。貼る位置によって自己評価を可視化できるよう工夫しました。また、上下巻の巻末には各単元のジャンプに貼ったシールを貼り直してまとめられる「ジャンプ大しゅうごう」があり、1年間の学習を振り返ることができます。

下巻 p16-17

# 2

## 学びを「つなげる」教科書

—— 幼児教育や中学年以降の教育との接続を、また、他教科に有機的につながる学習を実現しました。

幼稚園・保育所等と小学校の円滑な接続を図る、スタートカリキュラムページ「あたらしい いちねんせい」(上巻p4-13)。児童の「安心」「自信」「好奇心」を軸に、入学当初の活動を、幼児教育や他教科等の学習との接続・関連も踏まえながら示しています。児童の生活の流れを大切にしながら、幼児期に育った姿が存分に発揮できるよう構成しています。

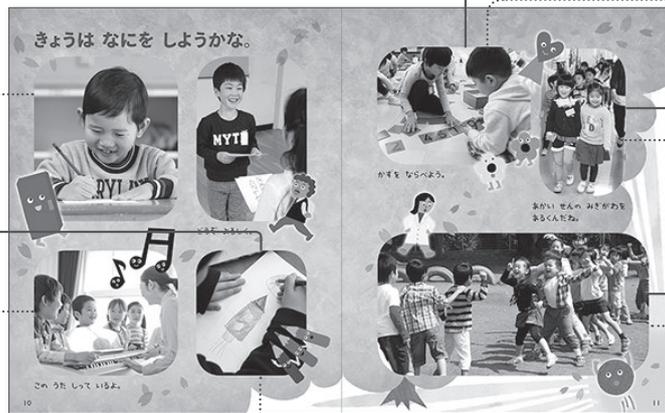
—— (実線)  
幼稚園教育要領の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の10項目との接続を示した箇所。

…… (点線)  
他教科等との合科・関連を示し、カリキュラム・マネジメントの具体的なあり方を示した箇所。



上巻 p6-7

- ② 自立心
- ⑨ 言葉による伝え合い
- ⑤ 社会生活との関わり
- ① 健康な心と体



上巻 p10-11

図画工作

- 国語
- ⑩ 豊かな感性と表現
- 音楽
- ⑥ 思考力の芽生え
- ⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- 算数
- ④ 道徳性・規範意識の芽生え
- 道徳
- ③ 協同性
- 体育
- ⑦ 自然との関わり・生命尊重



上巻 p13

下巻では、中学年以降の学習との接続を多様に示しています。



下巻 p61

理科につながる、磁石で動くおもちゃを作る活動。科学的な認識の基礎につながります。



下巻 p66

社会科につながる、見つけたことを地図に整理する活動。地域社会に対する愛着が深まります。



下巻 p90

総合的な学習の時間につながる、自ら課題を設定し、情報収集し、整理し、まとめる活動。探究的な見方・考え方を育てます。

### 3

## 学びを「広げる」教科書

—— 児童の心を揺さぶり、活動を広げる豊富な資料を多数掲載しました。

季節の変化をダイナミックに感じられる資料「きせつの おくりもの」を、上下巻の各所に収録しました。写真家・今森光彦氏の四季の風景の撮り下ろしや、季節の動植物、町の1年の様子を定点で描いたイラストなど、児童が進んで読みたくなる資料を掲載しています。



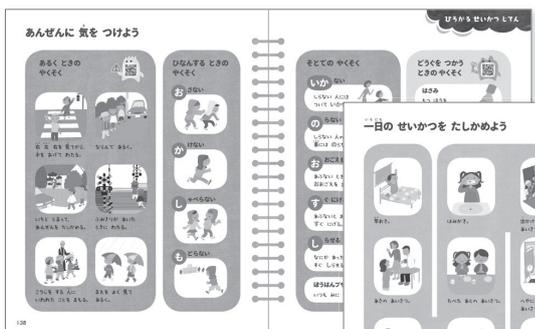
上巻 p107-110

巻末には、3種類の資料を用意しました。児童が必要に応じていつでも確認することができます。

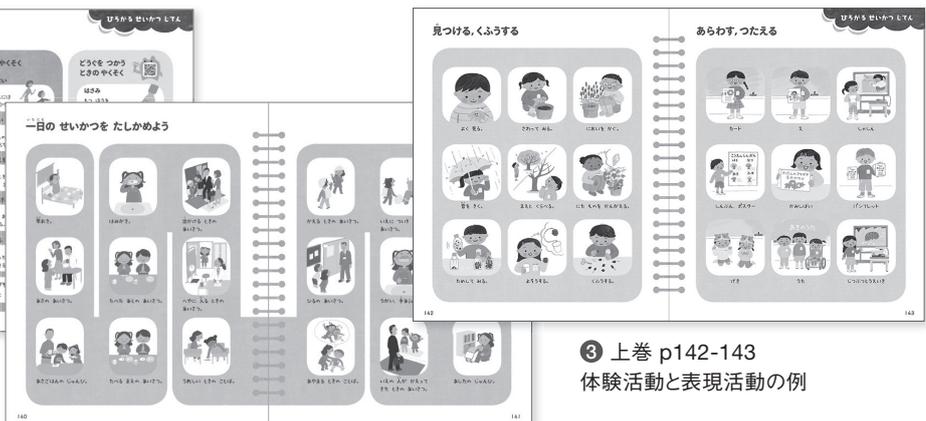
**【① 防災・安全の資料】** 自然災害・交通災害・人的災害等に対する適切な行動について確認できます。

**【② 挨拶や手洗いなどの生活上必要な習慣や技能を確認できる資料】** 一日の生活を振り返りながら、定着を促すことができます。

**【③ 気付きの質の高まりや、「深い学び」を促す、体験活動と表現活動の例】** 体験活動には、諸感覚を通じたものに加え、見つける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどを掲載し、表現活動には、言葉、絵、動作、劇化等の表現方法に加え、ICT機器の活用例も掲載しました。



① 上巻 p138-139  
防災・安全の資料



② 上巻 p140-141  
生活上必要な習慣や技能を確認できる資料

③ 上巻 p142-143  
体験活動と表現活動の例

教科書内では、ユーモラスなキャラクターが、児童の学習への興味・関心を喚起する資料の場へ案内します。① 交通安全、② 道具の使い方、③ 季節の資料(四季の動植物および47都道府県の伝統行事)を収録しています。(右記の二次元コードから読み取ることができます。)



## 2. 対照表

### [ 上巻 ]

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当頁
あたらしいいちねんせい	入学直後の児童が、自分らしさを発揮しながら、無理なく小学校生活を開始できる活動を設定しています。【第二号】 友達をはじめとした他者と交流することで、個人を尊重することができる活動を設定しています。【第三号】	4-13
なかよし いっぱい だいさくせん	身近な人々との関わりを通じて、適切な関わり方や態度が身につけられる活動を取り上げています。【第三号】	14-27
さかせたいな わたしのはな	身近な植物に興味をもち、継続的に栽培することを通して、生命を尊ぶ態度を育成する活動を取り上げています。【第四号】	28-45
なつだ とびだそう	自然の不思議さや面白さ、大切さを実感するとともに、身近な環境を保全していく意識が高まる活動を取り上げています。【第四号】	46-57
もうすぐ なつやすみ	生活態度や言葉遣いなど、学校生活や日常生活を過ごすうえで必要な習慣や技能の定着を促す活動を示しています。【第一号】	58-59
なつ の たのしみ	身近な地域への親しみや愛着がもてるよう、季節ごとの地域の行事などを紹介しています。【第五号】	60-61
いきものとなかよし	身近な生き物に興味をもち、継続的に飼育することを通して、生命を尊ぶ態度を育成する活動を取り上げています。【第四号】	62-73
あきと いっしょに	自然の不思議さや面白さ、大切さを実感するとともに、身近な環境を保全していく意識が高まる活動を取り上げています。【第四号】	74-85
みんなの にこにこ 大きくせん	身近な人々との関わりを通じて、適切な関わり方や態度が身につけられる活動を取り上げています。【第三号】	86-95
もうすぐ ふゆやすみ	生活態度や言葉遣いなど、学校生活や日常生活を過ごすうえで必要な習慣や技能の定着を促す活動を示しています。【第一号】	96-97
ふゆ の たのしみ	身近な地域への親しみや愛着がもてるよう、季節ごとの地域の行事などを紹介しています。【第五号】	98-99
ふゆと ともたち	自然の不思議さや面白さ、大切さを実感するとともに、身近な環境を保全していく意識が高まる活動を取り上げています。【第四号】	100-106、 111
きせつ の おくりもの	自然の不思議さや面白さ、大切さを実感できるとともに、四季の美しさをいとおしむ心が育つよう、季節ごとの動植物を紹介しています。【第四号】	107-110、 112-123
もうすぐ みんな 2年生	自分自身の成長を実感するとともに、自分の将来について考える活動を取り上げています。【第二号】 身近な人々との関わりを通じて、適切な関わり方や態度が身につけられる活動を取り上げています。【第三号】	124-135
ジャンプ大しゅうごう	1年間の活動を振り返り、自分自身の成長を実感するとともに、自分の将来について考える場を設定しています。【第二号】	136-137
ひろがる せいかつじてん	日常生活においても役立つ、安全やマナー、生活習慣、学び方の例を紹介しています。【第一号】	138-143

### [ 下巻 ]

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当頁
さあ、きょうから 2年生	進級直後の児童が、自分らしさを発揮しながら、無理なく第2学年の生活を開始できる活動を設定しています。【第二号】	4-5
まちを たんけん 大はっけん	地域の人々との関わりを通じて、適切な関わり方や態度を身につける活動を取り上げています。【第三号】 身近な地域への親しみや愛着がもてるよう、地域の人々と繰り返し関わる活動を取り上げています。【第五号】	6-17
ぐんぐん そだて おいしい やさい	身近な植物に興味をもち、継続的に栽培することを通して、生命を尊ぶ態度を育成する活動を取り上げています。【第四号】	18-35
小さな 友だち	身近な生き物に興味をもち、継続的に飼育することを通して、生命を尊ぶ態度を育成する活動を取り上げています。【第四号】	36-47
あそんで ためして くふうして	廃材を活用しておもちゃを作り上げることを通じて、環境保全に対する態度を育成する活動を取り上げています。【第四号】	48-63
もっと もっと まちたんけん	地域の人々との関わりを通じて、適切な関わり方や態度を身につける活動を取り上げています。【第三号】 身近な地域への親しみや愛着がもてるよう、地域の人々と繰り返し関わる活動を取り上げています。【第五号】	64-77
きせつ の おくりもの	四季の美しさをいとおしむ心が育つよう、季節ごとの地域の様子を紹介しています。【第四号】 身近な地域への親しみや愛着がもてるよう、季節ごとの地域の行事などを紹介しています。【第五号】	78-85
広がれ わたし	自分自身の成長を実感するとともに、自分の将来について考える活動を取り上げています。【第二号】 身近な人々との関わりを通じて、適切な関わり方や態度が身につけられる活動を取り上げています。【第三号】	86-95
ジャンプ大しゅうごう	1年間の活動を振り返り、自分自身の成長を実感するとともに、自分の将来について考える場を設定しています。【第二号】	96-97
ひろがる せいかつじてん	日常生活においても役立つ、安全やマナー、生活習慣、学び方の例を紹介しています。【第一号】	98-103

## 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

### 特別支援教育への配慮

教科書のユニバーサルデザインという観点から、また、学習上支援が必要な児童のために、次の点に配慮しています。

- 特別支援教育の観点とカラーユニバーサルデザイン（色覚特性）の観点から、教科書のすべてのページについて、専門家の校閲を受けています。
- 紙面のデザインは、児童の学習のしにくさにつながらないように、特に配色や色調に注意をはらったり、文字と写真、写真と写真との区別が明確になるように、罫線を入れたりしています。
- 吹き出し等には、児童が親しみやすい手書き風書体を用いています。この書体は、筆順・画数・とめ・はね・はらいに配慮した字形のため、低学年の児童が書き写す際にも正しい字形で書くことができます。
- 特設コーナーの見出しなどには、読みやすさを強調して作られたUD（ユニバーサルデザイン）書体を使用しています。

# 編修趣意書

## 学習指導要領との対照表、配当授業時数

※受理番号	学校	教科	種目	学年
30-143	小学校	生活	生活	第1・2学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	生活 111 112	せいかつ 上 まいにち あたらしい せいかつ 下 だいすき みつけた		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### 1

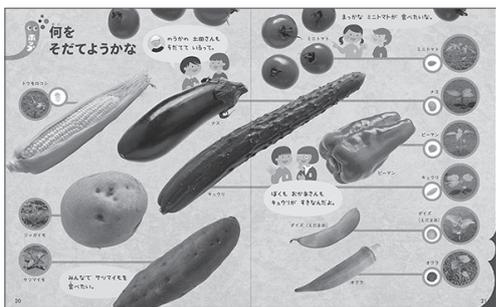
## 学びを「深める」教科書

—— 学びを確かなものにする，ホップ・ステップ・ジャンプの3段階で構成しています。

児童の学びへの意欲を高め，思考力を育てるとともに，学びを確かな力にするため，各単元の構成を工夫しました。

### 「主体的な学び」の例

全ての活動について，児童が対象に興味・関心や意欲をもって主体的に取り組めるように配慮しています。



下巻 p20-21

### 「対話的な学び」の例

児童どうして協働したり，教師や地域の人たちと対話したりする活動を，随所に位置づけています。



下巻 p26-27

### 「深い学び」の例

体験活動と表現活動の相互作用の中で，個々に気付いたり①，気付きを関連づけたり②，視点を変えて捉えたりする③ことを意図した，「深い学び」(気付きの質の高まり)の具体例を随所に位置づけています。

各単元のジャンプでも，気付きを自覚したり④，関連づけたり⑤，視点を変えて捉えたりする⑥などの，「深い学び」(気付きの質の高まり)の具体例を示しました。振り返りの観点として，また，評価の観点として，「どのようにしたか，何が分かったか」を考えるためのヒントとして掲載しています。



下巻 p72



下巻 p32-33

「見通し」(「ホップ」のページ)

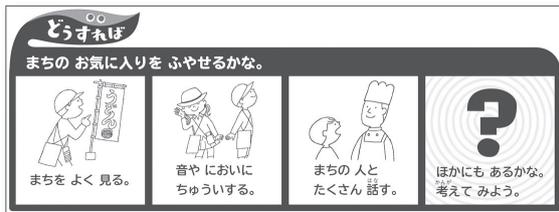
各単元のホップ画面には、学習の「見通し」を示し、学びを確かなものにするための工夫をしています。



下巻 p6-7

「主体的・対話的で深い学び」(「ステップ」のページ)

その単元で特に児童自身に考えてほしい点を示しました。活動を深く豊かにするヒントとともに「どうすれば○○できるかな」と問いかけ、児童自身が、場に応じて考えられるようにすることで、「主体的・対話的で深い学び」を実現します。



下巻 p10-11

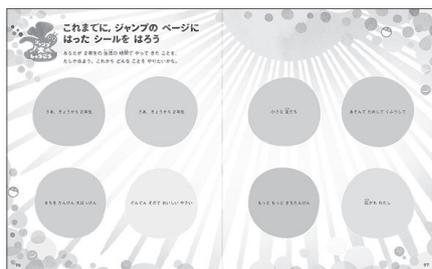
「振り返り」(「ジャンプ」のページ)

自分の振り返りを巻末付録のシール(シールは何度でも貼ったり剥がしたりできます)に書いて貼るコーナーを設けました。貼る位置によって自己評価を可視化できます。

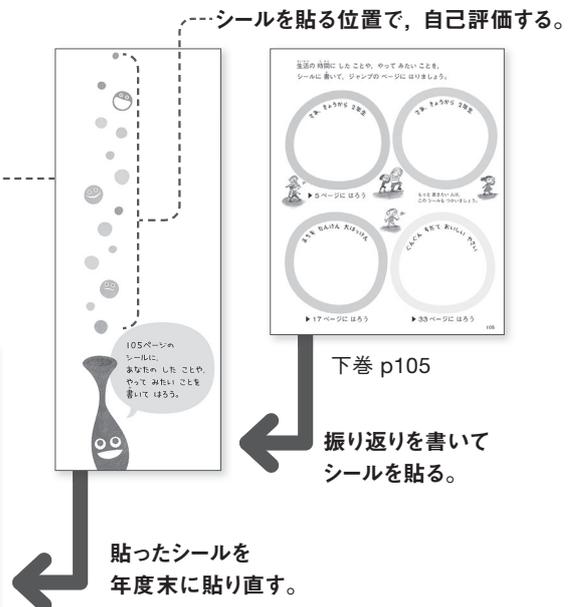
また、上下巻の巻末には、各単元のジャンプに貼ったシールを貼り直し、1年間の学習全体を振り返ることができる、「ジャンプ大しゅうごう」を設けました。



下巻 p16-17  
「ジャンプ」



下巻 p96-97  
「ジャンプ大しゅうごう」



## 2

### 学びを「つなげる」教科書

—— 幼児教育や中学年以降の教育との接続を、また、他教科に有機的につながる学習を実現しました。

スタートカリキュラムページ「あたらしい いちねんせい」を設定しました(上巻p4-13)。幼児教育との接続等に配慮し、児童の「安心」「自信」「好奇心」を中心軸にすえ、入学当初の活動を楽しみイラストや児童に身近な写真とともに示しています。



上巻 p4-5

ページの始まりは、児童が安心して小学校生活を始められるよう、さまざまな人や物が児童を出迎えます。



上巻 p12-13

児童の意識が次の「学校探検」につながるように、学校の人や物への好奇心を喚起する場面を提示しました。

## 3

### 学びを「広げる」教科書

—— 児童の心を揺さぶり、活動を広げる豊富な資料を多数掲載しました。

① 単元末資料「もっと やってみたい」。単元を広げる内容を提示し、活動をさらに発展させることができます。

② 上巻の夏・冬休み前に設置した、学校生活全体の振り返り資料。生活上必要な習慣や技能を定着させ、日常生活に有機的につなげることができます。

③ 四季に着目する資料「きせつのおくりもの」。春夏秋冬の変化をダイナミックに展開しています。また、学習の参考として、ページ内に二次元コードアイコンを示しました。読み取ることで、さらに詳細な資料を見ることができます。

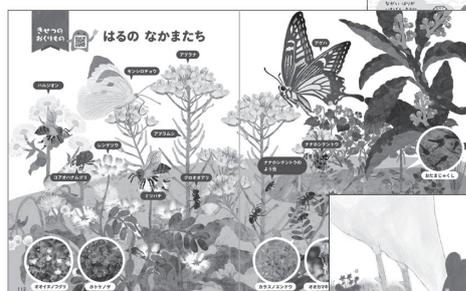
④ 上下巻の巻頭と巻末には、工藤直子氏の詩を載せました。巻頭には、入学・進級した児童の希望と意欲の高まりを、そして、巻末には、進級する児童の期待を後押しする気持ちを表現した詩を作っていました。



① もっと やってみたい  
(上巻 p44-45)



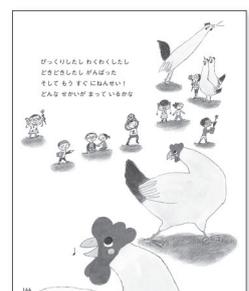
② 夏・冬休み前の振り返り  
(上巻 p58-59)



③ きせつのおくりもの  
(上巻 p112-113)



④ 上巻巻頭の詩



④ 上巻巻末(p144)の詩

## 教科書の特徴

編修上の留意点	
教育基本法・学習指導要領等への対応	<p>◆教育基本法や学校教育法の理念を踏まえ、特に次の点に意を用いました。</p> <p>①身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自立生活を豊かにする能力の育成            ②豊かな情操と道徳心の育成 ③生命を尊び、自然を大切にす態度の育成            ④伝統や文化を尊重する姿勢の育成 ⑤安全で健康な生活のために必要な習慣や技能の定着</p> <p>◆学習指導要領の方向性に対応し、特に次の点に意を用いました。</p> <p>①身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自立生活を豊かにする能力を養う            ②「主体的、対話的で深い学び」の実現            ③幼児教育・中学年以降の教育との円滑な接続および他教科等との合科・関連            ④体験活動と表現活動の相互作用による、学習活動の質の高まり            ⑤見つける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動</p>
内容と系統	◆学習指導要領の目標や内容をもれなく指導できるよう、単元を構成しています。
配分・配列	◆各単元を「ホップ」(導入)、「ステップ」(展開)、「ジャンプ」(振り返り)の3段階で構成し、学習過程に沿って、確実に力がつくように工夫しました。
幼児教育との接続	<p>◆児童が学校生活への不安をなくし、自信をもってスタートできるよう、上巻冒頭にスタートカリキュラムページ「あたらしいいちねんせい」を設けました(上巻p4-13)。幼稚園教育要領の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」も踏まえながら、幼児教育との接続を示しています。</p> <p>◆幼稚園・保育所等の幼児らと交流する活動も豊富に示しました。</p>
中学年以降の教育との接続	<p>◆中学年以降の教科につながる活動を豊富に示しました。</p> <p>【理科】下巻p61(磁石の遊び)、【社会】下巻p72-73(地図作り)、【総合】下巻p90-91(自分調べ)など</p>
他教科等との関連	<p>◆他教科等との関連を図れるように、合科・関連の例を豊富に示しています。</p> <p>【国語】上巻p31(記録カード)、【算数】上巻p41(種を数える)、【音楽】上巻p10(歌遊び)、【図画工作】上巻p69(粘土表現)、【体育】上巻p11(運動遊び)、【道徳】上巻p65(生命の尊さ)、【特別活動】上巻p9(給食の準備)など</p>
文字提出・表記・表現	<p>◆漢字・片仮名は、上巻の9月分から提出し、無理なく学習できるように配慮しています。</p> <p>◆読みやすさに配慮し、文章はすべて文節ごとに分かちを入れるとともに、当該学年で学習する漢字には見開きごとに振り仮名をつけました。</p> <p>◆表現・言葉は、国語との関連や低学年の発達段階を意識し、十分吟味して提示しています。</p>
製本・印刷・活字など	<p>◆製本は堅牢で、印刷は鮮明で読みやすくなるよう配慮しています。</p> <p>◆原料や製法を十分に吟味し、環境に負荷の少ない用紙、植物油インキを用いています。</p> <p>◆吹き出し等には、児童が親しみやすい手書き風書体を用いています。この書体は、筆順・画数・とめ・はね・はらいに配慮した字形のため、低学年の児童が書き写す際にも正しい字形で書くことができます。</p> <p>◆特設コーナーの見出しなどには、読みやすさを強調して作られたUD(ユニバーサルデザイン)書体を使用しています。</p>
特別支援教育への配慮	<p>◆ユニバーサルデザインという観点から、また、学習上支援が必要な児童のために、特に以下の点に配慮しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報のまとまりを認識しやすいように、小単元の始めなどにマークをつける。また、写真と写真の間を空けたり線で囲んだりして、明確に区別できるようにする。</li> <li>・色覚特性に配慮し、色による識別に頼ることなく、形で識別できるようにする。また、色を問いとす学習活動を設定しない。</li> </ul>
伝統・文化の扱い	◆各地域の伝統行事などを示し、児童が身近な伝統や文化に目を向けるきっかけとなるようにしました。二次元コードの資料でも各地の伝統行事を豊富に紹介しました。
防災・安全の扱い	◆自然災害、交通災害、人的災害に関する注意点や、道具を使用する際の注意点を示しました。二次元コードの資料でも安全に関する動画等を豊富に収録しました。
道徳教育への配慮	◆自分の言葉遣いや振る舞いについて考えることができるよう、多様な活動例を示しました。
情報教育への配慮	◆デジタルカメラや実物投影機の活用方法を豊富に示しました。
環境教育への配慮	◆四季を通じて自然に触れる活動や、飼育単元終了後の生物の取り扱い方等を示しました。
キャリア教育への配慮	◆地域で働く人々との交流を取り上げ、仕事ぶりへの尊敬や憧れの気持ちを示しました。
人権・福祉・国際理解教育上の配慮	<p>◆教科書全般にわたり、性別・人種・身体的特徴・家庭環境・家族構成に偏りがないようにするとともに、身近な幼児や高齢者、障がいのある児童生徒などに関わる活動も取り上げました。</p> <p>◆ピクトグラムや点字など、多様な人々のために工夫されたものの例を随所に示しました。</p>



## 2. 対照表

上巻は学校・家庭などを主な活動の場とし、下巻は身近な地域を主な活動の場としました。

### [ 上巻 ]

図書の構成・内容	学習指導要領の内容									該当頁	配当時数
	(1) 学校と生活	(2) 家庭と生活	(3) 地域と生活	(4) 公共物や 公共施設の利用	(5) 季節の変化と 生活	(6) 自然や物を 使った遊び	(7) 動植物の 飼育・栽培	(8) 生活や出来事の 伝え合い	(9) 自分の成長		
あたらしいいちねんせい	◎							○	○	4-13	4
なかよし いっぱい だいさくせん	◎			○	○			○		14-27	17
さかせたいな わたしのはな					○		◎	○		28-43	15
なつだ とびだそう				○	◎	○		○		46-55	7
いきものとなかよし					○		◎	○		62-71	9
あきと いっしょに				○	◎	◎		○		74-83	16
みんなの にこにこ 大きせん		◎						○		86-95	10
ふゆとともだち				○	◎	○		○		100-106, 111	10
もうすぐ みんな 2年生								○	◎	124-135	14
										合計時数	102

### [ 下巻 ]

図書の構成・内容	学習指導要領の内容									該当頁	配当時数
	(1) 学校と生活	(2) 家庭と生活	(3) 地域と生活	(4) 公共物や 公共施設の利用	(5) 季節の変化と 生活	(6) 自然や物を 使った遊び	(7) 動植物の 飼育・栽培	(8) 生活や出来事の 伝え合い	(9) 自分の成長		
さあ、きょうから 2年生								○	◎	4-5	2
まちを たんけん 大はっけん			◎	○				○		6-17	13
ぐんぐん そだて おいしい やさい					○		◎	○		18-33	16
小さな 友だち					○		◎	○		36-47	12
あそんで ためして くふうして						◎		○		48-63	17
もっと もっと まちたんけん			◎	○	○			◎		64-77	25
広がれ わたし								○	◎	86-95	20
										合計時数	105

【備考】 ◎は特に中心となる内容、○は当該単元で扱う内容を示しています。